

1. 実況上の着目点

① 非常に強い台風第10号が、奄美市の北東の海上を発達しながらゆっくり北北西進。南西諸島、西～東日本では、台風周辺と太平洋高気圧縁辺からの暖かく湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定となっており、雷を多数検知。東海地方では、1時間におよそ70mmの雨を解析。台風に近い奄美地方では、猛烈な風が吹き、海上ではうねりを伴った猛烈なしけとなっている所がある。

② 前線が日本海から北日本を通り、千島近海にのびている。前線に向かって①の高気圧から暖かく湿った空気が流れ込むため、大気の状態が不安定となっており、北陸地方では、1時間おおよそ80mmの雨を解析、雷を検知。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の台風は、発達しながら北上し、29日にかけて非常に強い勢力を保持して九州南部に接近する。この台風の影響により、奄美地方と西日本では、非常に強い風や猛烈な風が吹いて、海上ではうねりを伴った大しけとなり、局所的には猛烈なしけとなる所がある。30日にかけて暴風やうねりを伴った高波に厳重に警戒。また、台風本体や外側の発達した対流雲がかかり、奄美地方と西日本及び東日本の太平洋側では、雷を伴った非常に激しい雨や猛烈な雨が降り、大雨となる所がある。30日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。奄美地方は高潮にも厳重に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風に注意。特に、奄美地方や九州南部では29日夜にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。なお、台風の動きが遅いため、猛烈な風や猛烈なしけとなる時間が長くなり、総雨量が多くなるおそれがあることに留意。

② 1項②の前線や1項①の暖かく湿った空気の影響により、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り、大雨となる所がある。また、前線周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて、波が高くしけとなる所がある。東北地方ではこれまでの大雨により、土砂災害、浸水害、洪水の危険度が高まっている所がある。前線の影響を受けやすい東北地方や北陸地方では、30日にかけて土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、北日本では強風や高波、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。台風については、最新の台風情報を参照。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ①雨量(06時からの24時間)：九州南部500、九州北部・奄美300、四国250、東海200、東北・近畿120、北陸地方100mm。②波浪(明日まで)：九州南部・奄美10、四国・九州北部7、近畿6、東海5、伊豆諸島・沖縄4、関東・中国3m。③高潮(明日まで)：奄美地方では警戒基準を、西日本や東日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「台風第10号に関する情報(総合情報)」を05時頃に発表予定。